

日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A~Cは、二人の高校生(キリコとハルタ)の会話である。この文章を読み、後の問い合わせ(問1~7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 22)

A

図1



図2



キリコ：これはおじいさんの持っていた切手コレクションだよ。この切手(図1)は年代物でしょ。他の切手と切り離すための小穴(目打ち)もないし。

ハルタ：昔を感じるね。それと比べると、こちら(図2)はまだ今の切手に近そうだ。1871年に郵便制度を整えたのは だけど、この切手も作らせたのかな。

キリコ： が1871年に作らせたのは図1のほう。 を設立した渋沢栄一から、海外の切手を見せられたのがヒントになったみたい。でも① 図1は切手として問題があり、居留地の外国人などにも不評だったで、1876年に図2が作られたようだよ。キヨソーネというイタリア人が、銅版画の技法にこだわる明治政府を説得し導入した凸版印刷の技術が使われたんだ。

ハルタ：へえ、そんな新技術が日本にあったのは驚きだよ。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **1**

- | | |
|-----------|----------|
| ① ア 前島密 | イ 八幡製鉄所 |
| ② ア 前島密 | イ 大阪紡績会社 |
| ③ ア 金子堅太郎 | イ 八幡製鉄所 |
| ④ ア 金子堅太郎 | イ 大阪紡績会社 |

問 2 下線部②に関連して、ハルタさんは、不評だった図1の切手がどのように改善されたのかを考えた。図2も参考にしながら、改善点について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- | |
|-------------------------------------|
| ① 新たに造られる貨幣に合わせるために、料金単位を銭から厘に変更した。 |
| ② 日本で発行された切手であることが分かるように、国号を記した。 |
| ③ 外国人にも読みやすいように、英語や算用数字を加えた。 |
| ④ 一枚ごとに切り離しができるように、目打ちを施した。 |

B

図 3



キリコ：この切手(図3)は、かなり珍しいよ。実際には発売されなかつたから。

ハルタ：えっ、そんな切手があるんだね。

キリコ：これは当時の皇太子の結婚を記念した切手なんだ。でも関東大震災が発生したために、印刷した切手のほとんどが焼失してしまったよ。

日本史A

ハルタ：⑤よく残っていたね。 デザインは風景だけで、皇太子の姿はないんだ。

キリコ：明治時代には、⑥天皇の姿を郵便物に載せることをめぐって議論があつたようだね。 でも、大正時代になると、発売された絵はがきには、天皇・皇后や皇太子夫妻の写真が載せられているけどね。

問3 下線部⑤に関連して、キリコさんは、図3の切手のごく一部だけが焼失をまぬがれた理由を調べてみた。その理由を述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。3

- ① 到着まで時間のかかる満州国での発売予定分を、事前に送っていた。
- ② 到着まで時間のかかる南洋諸島での発売予定分を、事前に送っていた。
- ③ 米騒動による被害が予想されたため、事前に避難させていた。
- ④ 自由民権運動の激化事件の被害が予想されたため、事前に避難させていた。

問4 下線部⑥に関連して、次の史料に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。4

史料

帝王将相の像を民間常用の郵便切手、もしくは他の種の品類に印刻するが如きは、歐米に於る慣習にして、彼の俗に於ては敢て奇とするに足らずと雖も、我が國に於ては未だ嘗て此の如きの挙あるを見ず。(中略)政府たるもの徒に欧風を模倣して国体の如何を弁ぜず、皇室の尊嚴を冒瀆するを顧みず。是何等の失体ぞや。
(鬼哭子(杉浦重剛)「社説」『東京朝日新聞』1896年7月23日)

X 史料によれば、帝王像を切手に印すのは欧米に実例がないことが分かる。

Y 史料の社説は、欧化(西洋化)を批判する国粹主義に基づく主張である。

- ① X 正 Y 正
- ③ X 誤 Y 正

- ② X 正 Y 誤
- ④ X 誤 Y 誤

C

図 4



図 5



ハルタ：これは知っているよ。海軍軍人の東郷平八郎を描いた切手(図4)でしょう。日本海海戦の勝利を導いた人だったよね。

キリコ：そう。この切手はアジア太平洋戦争(太平洋戦争)の最中に発行されたんだ。著名な軍人は、天皇の模範的な臣民として切手の肖像になったのかな。

ハルタ：①「国威発揚」の一環だね。女性労働者を描いた右の切手(図5)とは対照的に見えるよね。

キリコ：この切手(図5)は、日本国憲法が制定された時期に発行された産業図案切手の一枚なんだ。②敗戦直後の新しい労働者像を描いたものだね。

ハルタ：切手に描かれる人物の傾向も、時代に応じて変わっていくのは面白いね。

日本史A

問 5 下線部①に関連して、国民を戦争に向かわせるための標語やスローガンに関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものと、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

- Ⅰ 本土決戦に備えて、政府は「一億玉碎」のスローガンで国民を動員しようとした。
- Ⅱ ロシアに対する反感が高まり、「臥薪嘗胆」の合言葉のもと軍備拡張が実施された。
- Ⅲ 新聞などで「満蒙は日本の生命線」とする論調が高まり、関東軍は日本の利権を確保するため、満州全域に侵攻した。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問 6 下線部②に関連して、敗戦直後の放送・メディアについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① テレビ放送を行っていた局が合併され、日本放送協会が設立された。
- ② 1円1冊の安価な「円本」とよばれる大衆雑誌が創刊された。
- ③ 開放的な大衆文化が広がり、歌謡曲「リンゴの歌(唄)」が流行した。
- ④ トーキーとよばれる無声映画が、人々の娯楽として楽しまれた。

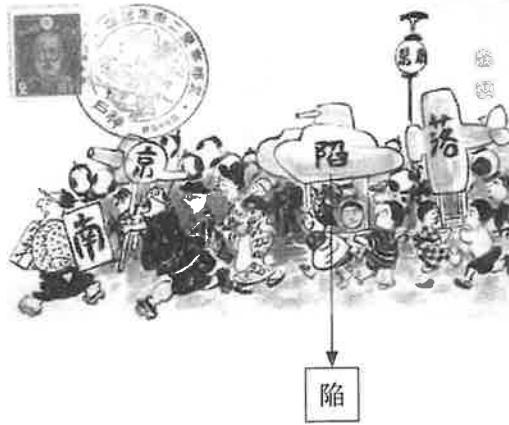
問 7 キリコさんとハルタさんは、切手の絵柄が同時代の歴史と結びついていることを学んだ。そこで、二人は、日本で発行された記念印入り絵はがきがどのような歴史的事実を表しているのかを考えた。次の絵はがきX・Yと、それについて述べた後の文a～dとの組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

7

X



Y

かんばつ
教育勅語渢発(注)五十年記念

(注) 渢発：発布すること。

- a Xは、敗戦後に軍国主義的な教育から解放された学校の様子を表していると考えられる。
- b Xは、日中戦争下で子どもたちに国家主義が影響を及ぼしている学校の様子を表していると考えられる。
- c Yに表された事実により、蒋介石は重慶に移り、日本への抗戦を続けた。
- d Yに表された事実をきっかけに、中国では西安事件が発生した。

- ① X - a Y - c
 ③ X - b Y - c

- ② X - a Y - d
 ④ X - b Y - d

日本史A

第2問 演劇部に所属する高校生のタクさんとユキさんは、幕末から明治にかけての日本を主な舞台とした劇の台本を作成することにした。劇の構想をまとめた次のメモと、タクさんとユキさんとの会話を読み、後の問い合わせ(問1～4)に答えよ。なお、この問題の文中に出てくる年齢は満年齢である。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 12)

メモ

主人公：牧野りん(1860年生まれ、1910年没)

※りんの父は、東北地方のある藩の藩士(明治期は士族)

※りんをはじめ、登場人物は架空の人物

内容：幕末から明治にかけて、時代が大きく変わるなか、りんが苦難を乗り越えながら成長する様子を描いた物語

会話

タ ク：面白い劇ができそうだけど、過去の時代を題材にするとなると、その時代が実際にどんな時代だったかを調べる必要があるね。

ユ キ：過去の時代を題材にした演劇や映画、ドラマでは、衣装や小道具、さらに物語の設定に関して、当時の状況や、歴史的事実(史実)に照らして適切かを検討する時代考証がよく行われるようだよ。

タ ク：私たちの劇では、幕末から明治にかけての時代を取り扱うけれど、この時代は文化の面でも大きな変化があったから、例えば④服装や身なりを考えてみても、時代考証をするのは大変そうだよね。

ユ キ：それなら、主人公の牧野りんと同じ時代を生きた実在の人物について調べてみれば、手掛かりになるかもしれないよ。

タ ク：さっそく図書室で調べてみようよ。台本の作成に役立つといいね。

問 1 設定された牧野りんの生没年の中に起きた出来事について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 8

X 牧野りんが4歳になる頃、この地が、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの連合艦隊によって砲撃された。

Y 牧野りんが13歳になる頃、新しく設立された内務省の長官(卿)に、この人物が就任した。

a 鹿児島

b 下関

c 寺島宗則

d 大久保利通

① X—a Y—c

② X—a Y—d

③ X—b Y—c

④ X—b Y—d

問 2 下線部②に関連して、幕末から明治期にかけての服装や身なりに関わる出来事について述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを見、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

I 政府が軍人と警察官以外の者の帯刀を禁止したことなどに不満を抱いた士族たちが、熊本で反乱を起こした。

II 洋装での舞踏会を催すなど、欧化政策をとった人物が、条約改正交渉に関して世論の反発を受け、外務大臣を辞任した。

III 伊勢神宮の御札などが降ってきたことを機に、人々が乱舞する流行が生じ、その乱舞では男性の女装や、女性の男装が見られることがあった。

① I—II—III

② I—III—II

③ II—I—III

④ II—III—I

⑤ III—I—II

⑥ III—II—I

日本史A

問 3 タクさんとユキさんは、図書室で調べるなかで、牧野りんと同じ時代を生きた実在の人物として、男女同権を求めて活動した1863年生まれの岸田(中島)俊子に注目した。次の史料は、岸田が1884年に発表した文章の一部である。この史料に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

10

史料

男子たるものは、(中略)大抵教えを受けざるはなし。よしや(注1)教えを受けざるも、男子は世の中に奔走して弘く人と交るが故に、女子の閨闥(注2)の中にもとじこもりて、人交りも得せぬ様に(注3)せられぬるものとは、其の知識の進みも大なる差異あらねばならぬ訳なるべし。然ればむかしより、男子のすぐれたるもの女子よりも多かるの理は、教うると教えざるとの差い、又世に交ることの広きと狭きとに依るものにて、自然に得たる精神力に於て差異あるものにははべらぬぞかし。

(『自由燈』9号)

(注1) よしや：たとえ。

(注2) 関闥：部屋。

(注3) 得せぬ様に：できないように。

X 史料によれば、岸田俊子は、男性と女性との知識の差は、教育や人的交流の機会の差によって生じたものだと述べている。

Y 史料が書かれた当時の女性は、小学校で国定教科書に基づく義務教育を受けていた。

① X 正 Y 正

③ X 誤 Y 正

② X 正 Y 誤

④ X 誤 Y 誤

問 4 タクさんとユキさんは、図書室で調べた岸田俊子の生涯を参考に、牧野りんの生涯を次のように設定した。その上で、同じ演劇部員のカイさんとともに時代考証を行うことにした。次の生涯の設定を読み、3人の時代考証に関する発言の波線部について述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

11

生涯の設定(時代考証前の文章で、史実に照らして修正すべき点がある。)

明治になり、りんの父は屯田兵として、りんたちを連れて札幌近郊に移住した。しかし病におかされ、りんが16歳の時に亡くなる。その後、りんは親族をたよって東京に移り、自由民権運動に携わった。20歳の時に、りんは自由民権運動を通じて知り合った憲政党の男性と結婚し、21歳から8年間、夫とともにドイツで暮らした。欧米で展開されていた女性の権利拡大の運動に感銘を受けたりんは、帰国後、女子教育の発展に生涯をささげた。

発言

タ ク：設定上、りんの父が屯田兵となっているけど、史実として、りんの父が亡くなる前に屯田兵に応募できたのは平民だけだよね。この設定は修正したほうがいいと思う。

ユ キ：史実として、憲政党の結成は、りんが設定上で結婚した年よりも後のことだよね。この設定は修正したほうがいいと思う。

カ イ：設定上で、りんがドイツに滞在していた期間に、史実として、明治政府の要人がドイツで憲法調査を行っているよね。劇の背景に、こうした日本とドイツとの関係を追加できるね。

- ① 3人とも正しい。
- ② 3人とも間違っている。
- ③ ユキさんのみ正しい。
- ④ タクさんのみ間違っている。

日本史A

第3問 ハルカさんとナツキさんは、税が経済や社会に与えた影響をテーマに調べ学習を進めている。二人の会話を読み、後の問い合わせ(問1~7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 22)

ハルカ：1875年から1915年までの主な国税の収入金額と、それぞれの税が合計金額に占める割合について、表にまとめてみたよ。どのような税が課されていて、金額や割合はどのように変化したのかな。

表 主な国税収入額と合計に占める割合 (単位：万円)

年	地租		酒税(酒造税)		関税		合計
1875	5,034	85 %	255	4 %	171	3 %	5,919
1880	4,234	77 %	551	10 %	262	5 %	5,526
1885	4,303	82 %	105	2 %	208	4 %	5,258
1890	3,971	60 %	1,390	21 %	439	7 %	6,573
1895	3,869	52 %	1,774	24 %	678	9 %	7,469
1900	4,671	35 %	5,029	38 %	1,700	13 %	13,392
1905	8,047	32 %	5,909	24 %	3,675	15 %	25,127
1910	7,629	24 %	8,670	27 %	3,994	13 %	31,728
1915	7,360	24 %	8,464	27 %	3,216	10 %	31,274

(『明治大正財政詳覧』により作成)

(注) %は国税収入の合計に占める割合を示す。%は小数点以下を四捨五入して算出した。

(注) 国税収入額は千の位以下を切り捨てている。

(注) 合計には、地租・酒税(酒造税)・関税以外の税項目の金額も含む。そのため、割合の合計は100 %にならない。

ナツキ：明治維新期の改革では、地租改正が有名だよね。地租については、

ア と分かるね。

ハルカ：本当だ。でも、②地租改正によって江戸時代の年貢から大きく変化したこと自体が重要だったんじゃないかな。この変化を、⑤年貢や地租を納めていた入たちはどう感じたのだろう。調べてみたいな。

ナツキ：合計額の変化に注目すると、1900年頃から大きく増加している。④工業化が進展していたし、①日露戦争のように多くの費用がかかる出来事が前後にあったことも影響している。

ハルカ：地租以外にも、いろいろな税があったようだね。酒税は間接税の一例として公民科の授業で習ったよ。税が販売価格に反映されてくるから、実際に広くお酒を買う人みんなから酒税を取っていたことになる。

ナツキ：いろいろな形で税を集めて、支出に充てていたんだね。関税は貿易品に課される税だから、税を取る相手は日本人だけではなかったわけだ。⑤関税は次第に増加するけれど、外国との関係は悪くならなかつたのかな。

ハルカ：当時の①参政権には納税額が関係していたけど、国税収入額が増加すると有権者も増加して、政治に関わろうとする人も増えたのかな。

ナツキ：税のあり方は経済の状態や人々の生活にどのような影響を与えたのか、もっといろいろな史料を探して考えてみようよ。

問1 表を見て、会話文中の空欄 ア に入る文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。12

- ① 1875年と1880年を比べると、地租改正反対一揆の影響で、地租の税率を下げたことも一因となり、政府の税収合計額は減った
- ② 1875年から1915年にかけて、地租の収入金額を酒税の収入金額が上回ることはなかつた
- ③ 1885年から1895年にかけて、地租の収入金額は減少しているが、これは民党が衆議院で一度も多数派を形成することができず、地主の利益を代弁できなかつたためだ
- ④ 1890年と比べると、1910年には地租の収入金額は増加しているが、ほかの税も増加したため、地租が国税収入に占める割合はわずかな上昇にとどまった

日本史A

問2 下線部②に関して、二人は地租改正がもたらした変化やその影響について調べるうちに、政府の興味深い構想があったことを知り、次のメモのように整理した。このメモの空欄 **イ** **ウ** に入る語句と文の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

メモ

地租改正による変化

=地租は、物納ではなく、定額を現金で納めることが原則となった。
→納税のために、土地を所有する農民は、農作物を売却して現金を手に入れる必要が生じた。
しかし1880年、政府内に地租を米で徴収しようという意見(米納論)が現れる。

⇒なぜだろう？

時代背景：西南戦争の戦費をまかなうための紙幣発行で **イ** が発生。

→米納論の意図：政府自らが **ウ** と考えたのではないか。

- | | |
|--------------|----------------------|
| ① イ デフレーション | ウ 米を売却すれば政府の収入を増やせる |
| ② イ インフレーション | ウ 米を売却すれば政府の収入を増やせる |
| ③ イ デフレーション | ウ 米を蓄積すれば物価の上昇を抑制できる |
| ④ イ インフレーション | ウ 米を蓄積すれば物価の上昇を抑制できる |

問 3 下線部⑥に関連して、次の史料1は1876年に現在の三重県で暴動を起こした農民の主張である。この史料1に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

14

史料1

封建の世、諸侯、禄を士卒に給して以て兵となす。故に農民をして武事に煩わしめず、(中略)方今^(注)一変して郡縣に就き、諸侯及士卒の禄を廃し、兵に庶民を取ると雖も、租額^{いえど}取て減ぜず、而して諸税ますます加う。

(『伊勢片田村史』)

(注) 方今：ただ今。

X 史料1からは、かつて武士ではなかった人々が新たに軍隊に入ることになったのに、税負担が軽減されないのはおかしい、という考えが読み取れる。

Y 史料1からは、秩禄処分により土地を奪われ困窮した農民たちが一揆に身を投じたことが読み取れる。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部⑥に関連して、日本の工業化に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

15

I 縿糸の輸出量が、はじめて輸入量を上回った。

II 官営富岡製糸場が、設立された。

III 工業生産額が、はじめて農業生産額を上回った。

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

日本史A

問 5 下線部①に関連して、二人は日露戦争に対する国民の反応を調べるため、与謝野晶子の詩「君死にたまふことなけれ」を読んだ。次の史料2はその一部である。この史料2に関して述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

16

史料2

堺の街のあきびと(商人)の
しにせ
老舗を誇るあるじ(主)にて,
親の名を継ぐ君なれば,
君死にたまふことなけれ。
旅順の城はほろぶとも,
ほろびずとても、何事ぞ,
君は知らじな、あきびとの
家の習ひに無きことを。

- ① 史料2が掲載された文芸雑誌『キング』には、情熱的な短歌が掲載され、当時の文学界に衝撃を与えた。
- ② 史料2からは、出征した家族の安否への心配が読み取れるが、同様の関心が広く見られたため、開戦論を展開していた『万朝報』は非戦論に転じた。
- ③ 史料2からは、老舗の跡継ぎの人物が兵役免除の対象になっていたことが読み取れる。
- ④ 史料2は、戦争を疑問視する詩として知られているが、老舗の存続を願う気持ちも読み取ることができる。

問 6 下線部②に関連して、日本の関税や国際関係について述べた次の文 a ~ dについて、最も適当なものの組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。

17

- a 領事裁判権を撤廃する日英通商航海条約に調印した時期のイギリスは、ドイツの中国大陸への進出を牽制するため、日本との関係を強化しようとしていた。
- b 領事裁判権を撤廃する日英通商航海条約に調印した時期のイギリスは、ロシアの東アジア進出に対抗するため、日本との関係を強化しようとした。
- c 表により、1890年と1900年を比べると、部分的にはいえ関税自主権の回復が実現したこともあり、日本の関税収入は増加したことが分かる。
- d 表により、1910年と1915年を比べると、関税自主権の完全回復で関税収入が増加したこともあり、政府は関税以外の税を軽減したことが分かる。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

問 7 下線部①に関連して、二人は表に即して考察を行った。税額の変化と選挙権の関係について述べた文章として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

18

- ① 帝国議会開設以降、1910年まで収入額が増加していく酒税は、直接税ではなく間接税であった。そのため、酒税の税率を上げても、有権者数の増加にはつながらなかったと考えられる。
- ② 帝国議会開設以降、国税収入額全体に占める地租の割合は次第に低下していった。そのため、選挙権を失う地主が多かったと考えられる。
- ③ 日清戦争で賠償金を得たため、減税が行われ、政府の税収合計額が減少した。この影響で有権者が減少したため、第2次山県有朋内閣は選挙資格を拡大したと考えられる。
- ④ 選挙権の納税資格は、第1次加藤高明内閣により撤廃される。このことから、共産主義の政治的台頭を、同内閣は警戒していなかったと考えられる。

日本史A

第4問 修学旅行をひかえたカヅキさんは、「旅」をキーワードに調べ学習をした。

学習の過程で作成した次の資料A・Bを読んで、後の問い合わせ(問1～7)に答えよ。

(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 22)

A 修学旅行の歴史

- 1886年 ① 東京師範学校が千葉県銚子まで徒歩で「長途遠足」を実施する。
- 1887年 公文書に「修学旅行」の語が登場する。
- 1889年 山梨県女子師範学校が修学旅行を実施する(京都・三重・東京)。
- 1896年 ⑤ 長崎商業学校がはじめて海外修学旅行を実施する(上海)。
- 1906年 陸軍省と文部省の主催で、中学生以上の生徒を対象とする合同満州修学旅行が実施される。以後、③ 満州と朝鮮への修学旅行が増大する。

問1 下線部①に関して述べた次の文章について、空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 19

師範学校は教員養成を目的とした学校で、最初に設けられたのは東京師範学校である。その設立年は、 ア 学校を設置することを目指した「学制」の公布と同じである。師範学校の制度は、1886年に公布された師範学校令によって確立され、1947年に公布された イ によって六・三・三・四の新学制が発足する際に国立大学の教育学部などに再編された。

- ① ア 地方の実情を考慮して イ 教育令
② ア 地方の実情を考慮して イ 学校教育法
③ ア 全国画一的に イ 教育令
④ ア 全国画一的に イ 学校教育法

問 2 下線部⑤に関連して、その時の修学旅行生の上海での体験記を示した次の史料1の内容に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20

史料1

まず眼につくものはさすがは国際的繁栄の都市で、見馴れぬ高層建物や多種多様の人々(中略)でした。上海滞在は2，3日で、その間長崎出身某氏の経営せるホテルにわれわれ一行招待を受けました。(周囲から)「東洋鬼」の罵声を浴びつつ支那^(注)人街や城内などの見物をなし、戦勝の結果利権を得て新設された東華紡績工場の見物やらですごし(中略)神戸丸で長崎へ帰りました。

(長商創立75周年記念誌編集委員会編『長商卒業生の生活と意見』)

(注) 支那：当時用いられた中国の呼称。

X 修学旅行生が「国際的繁栄の都市」と称した上海は、安政の五カ国条約の締結よりも前に開港していた。

Y 修学旅行生は、日清戦争の勝利で日本が得た利権の一端を目撃したり、清國の敗北に対する上海市民の反応を体験したりした。

- ① X 正 Y 正
③ X 誤 Y 正

- ② X 正 Y 誤
④ X 誤 Y 誤

日本史A

問 3 下線部④に関連して、次の表1は大阪府女子師範学校が、1938年5月に実施した修学旅行の行程の一部を示したものである。この旅行の訪問地の説明として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

21

表1 大阪府女子師範学校の修学旅行の行程表(1938年5月)

訪問日	訪問地	おもな訪問先
14～15日	釜山・京城	朝鮮神宮・総督府・パゴダ(タブコル)公園
16日	平壤	平壤神社・博物館・朝鮮住宅
17～18日	奉天・撫順	鴨綠江・炭鉱・工場
19～21日	新京・ハルビン	新京神社・関東軍司令部・日本人小学校
22日	奉天	奉天神社・北大營・奉天城
23～25日	大連・旅順	滿鉄本社・露天市場・大連神社

(奈良県立図書情報館「子どもたちが見た満州」により作成)

- ① 14～15日に滞在した都市にある総督府の初代総督は桂太郎である。
- ② 17～18日の訪問地で神社を訪れていないのは、外国である満州国に神社がなかったからである。
- ③ 日中戦争のきっかけとなる衝突は22日の訪問地の郊外で起きた。
- ④ 関東都督府は23～25日の訪問地の一つにかつて設置されていた。

B 旅行の変化に関するメモ

〈戦前〉 生きるための旅からレジャーの旅へ

- ・生きるための旅・・・④炭鉱労働者、行商人、巡礼者
- ・④訪日客誘致を目的にジャパン・ツーリスト・ビューロー設立(1912年)

〈戦後〉 レジャーの旅の拡大

- ・⑤博覧会などのイベント開催 → 旅行活性化=地域活性化が期待される
- ・海外旅行：海外渡航の自由化(1964年) → ⑥アジアの新興国への旅行が増大

問 4 下線部①に関連して、次の表2と史料2に関して述べた後の文a～dについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

22

表2 炭鉱労働者の出身地別・勤続年数別の比率(小数点以下は四捨五入)

炭 鉱	他府県 出身比率(%)	勤続年数別比率(%)			
		1年未満	2年未満	3年未満	3年以上
A	49	61	29	8	3
B	35	64	23	6	8
C	48	55	21	12	12
D	63	56	19	10	15
E	51	36	28	18	17
F	56	48	17	14	21

(農商務省鉱山局編『鉱夫待遇事例』により作成)

史料2 炭鉱における家族労働

亭主は一足先に入坑し切羽きりは(注1)に挑んでおる。女房は(家事の)あと始末せがれをして、いとけない十才未満の体に幼児をおわせ、四人分の弁当(中略)担げかたて(注2)ワレも滑らず、うしろも転ばぬ様に気を配りつつさがり行く。此の場合大人がおんぶすれば安全だが何分坑道が低く、幼児が頭を打ちつける、他人に幼児を預けると十銭(中略)いるから大変、よって学校は間欠かんけつ(注3)長欠になるわけであった。

(山本作兵衛「入坑(母子)」)

(注1) 切羽：堀り進めている坑道の先端。きりは切場。

(注2) 担げて：肩にのせて。かついで。 (注3) 間欠：一定の期間休むこと。

- a 表2によると、いずれの炭鉱においても労働者の3分の2以上が勤続年数3年未満であり、1年未満が最も多いかった。
- b 表2によると、他府県出身の労働者が多ければ多いほど、勤続年数が短くなる傾向があった。
- c 史料2によると、炭鉱内に女性は入ることができず、炭坑労働者の妻は夫の弁当を男の子に届けさせなければならなかつた。
- d 史料2によると、子供の教育よりも家計を優先する炭鉱労働者がいたことが分かる。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史A

問 5 下線部④に関して、カヅキさんは、設立の事情を調査・考察した。その内容をまとめた文章として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 当時、外国人を日本各地に移住させる目的で、地方改良運動が行われていた。この成果を、訪日客の見聞を通して世界に知らせる意図があった。
- ② 当時の欧米では、日露戦争による日本でのファシズムの高まりが懸念されていた。この懸念を、訪日客の見聞を通して払拭できるという期待があった。
- ③ 当時の日本は、産業革命のなかで生じた貿易赤字に苦しんでいた。この問題を、訪日客がもたらす外貨で緩和させる意図があった。
- ④ 当時、日本以外のアジアでは民族自決原則に基づく独立運動が活発化し、治安が悪化していた。そのため、訪日客が増大するという期待があった。

問 6 下線部⑤に関して、カヅキさんは、沖縄国際海洋博覧会に関する複数の新聞を調べて、次の見出し一覧を作成した。そこから読み取ることに関して述べた後の文 a～dについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

24

見出し一覧

- ・1975年に「沖縄海洋博」復帰記念し大々的に(1971年3月)
- ・豊かな沖縄へのきっかけに 知事が談話(1972年5月)
- ・海洋博 基地脱却 東洋のハワイめざす(1973年3月)
- ・沖縄経済パンクさせるな 物価高あおる海洋博(1973年3月)
- ・“沖縄の心”は揺れ動いている 「本土の人たちの祭り」「景気浮揚の起爆剤に」(1975年7月)
- ・海洋博2か月 観光客は増えても本土の資本が吸いあげ(1975年9月)
- ・海洋博が去った沖縄 倒産・失業だけが残った 聞こえてくる本土への恨み節 基地居座り「戦後」は続く(1976年9月)

- a 海洋博の開催は、沖縄がアメリカ施政権下にあった時期から検討されていた。
- b 海洋博の開催の検討は、沖縄の施政権が日本に返還されてから始まった。
- c 海洋博の開幕で観光客が増えると、海洋博による沖縄の景気回復を歓迎する論調が優勢になった。
- d 海洋博の開幕で観光客が増えた後も、経済的な利益を得ているのは本土の企業であると、沖縄では不信感が募った。

① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 7 下線部⑧に関連して、第二次世界大戦後の日本とアジアの関係に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25

- X 冷戦のなかで、西ヨーロッパと同様に東アジアでもアメリカを中心とする多国間の共同防衛組織が結成され、日本も加盟した。
- Y 新興独立諸国との親善を目的に、日本の主催により、第1回アジア・アフリカ会議が東京で開催された。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史A

第5問 アジア太平洋戦争(太平洋戦争)期の空襲と、その経験を後世に伝える動きについて述べた次の文章A～Cを読み、後の問い合わせ(問1～7)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 22)

A

アジア太平洋戦争(太平洋戦争)では、①1942年6月のミッドウェー海戦以降、戦局は日本軍に不利になつていった。②この戦争では、上空から伝單(宣伝ビラ)が散布されることがあった。各地の資料館の中には、戦時中の様子を伝える史料の一つとして、伝單を展示しているところもある。

問1 下線部①に関連して、この戦いから日本の敗戦に至る時期の国内の状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 食糧不足のために、皇居前広場で飯米獲得人民大会(食糧メーデー)が実施された。
- ② 兵力不足を受け、文科系学生の徴兵猶予が停止された。
- ③ 日本・ドイツ・イタリアの代表者が集まる大東亜会議が開かれ、今後の協力体制を協議した。
- ④ 農村の困窮を受けて、政府によって農山漁村経済更生運動が開始された。

問 2 史料1は、下線部①で言及された伝單の一つである。次の史料1の内容に関して述べた後の文a～dについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

27

日本国民に告ぐ!!

“即刻都市より退避せよ”

このビラに書いてあることは最も大切なことでありますから良く注意して読んでください。

日本国民諸君は今や重大なる時に直面してしまつたのである。

軍部首脳部の連中が、三国共同宣言の十三ヶ条による實大なる條項をもつて此の無益な戦争を止めるべく機会を与えられたのであるが、軍部はこれを無視した。

そのためにソ連は日本に対して宣戦を布告したのである。

また米国は今や何人もなし得なかつた恐ろしい原子爆弾を発明しこれを使用するに至つた。(中略)

この恐るべき事実は、諸君が広島にただ一個だけ投下された際如何なる状態を惹起したかはそれを見れば判るはずである。(中略)米国は、この原子爆弾が多く使用されないうち、諸君が此の戦争を止めるよう天皇陛下に請願される事を望むものである。

(「日本国民に告ぐ!!」横浜市史資料室所蔵)

- a 史料1は、自国の国民に危険を知らせて生命を守ることを呼びかけることを目的に、日本が作成した伝单である。
- b 史料1は、日本の国民の戦意を低下させることなどを目的に、アメリカが作成した伝单である。
- c 史料1で言及されている三国共同宣言は、アメリカ・イギリス・ソ連の首脳が会談して決定した対日戦の方針にもとづいている。
- d 史料1は、1945年8月6日以前に散布された伝单である。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史A

B

戦時期の空襲では、日本国内の多くの都市で多数の犠牲者が出た。④敗戦後、政界の再編が行われ、多くの改革が進むが、そのなかで、各地で犠牲者を慰靈・追悼するモニュメントが多く建設されるようになっていった。その一つに、新潟県長岡市に所在する平和像があり、⑤1945年8月1日の空襲で亡くなった市内の学童を慰靈するため建設され、空襲の経験を伝える史跡となっている。

問 3 下線部④に関連して、敗戦後の政治に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

- Ⅰ 日本民主党と自由党が合同して、自由民主党を結成した。
- Ⅱ 総選挙で衆議院第一党になった党の総裁が公職追放された。
- Ⅲ 総選挙で日本社会党が衆議院第一党になった。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ
- ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ
- ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
- ④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ
- ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ
- ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問 4 史料2は、下線部⑤の平和像を建設する際の趣意書(意図を述べた文書)である。次の史料2の内容に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29

史料2

一九四五年八月一日、あの運命の日、あれから既に五年有余の歳月が流れ去りました。(中略)日々の新聞は、第三次世界大戦への危機を報じております。世界情勢が緊迫すればする程、われわれ一人一人の心の中に、^{こうこ}牢乎^(注)たる平和を守る決意をうちたてることが、絶対必要であると、確信するものであります。

(『長岡市史 資料編』)

(注) 牢乎：しっかりしてゆるぎないさま。

X 史料2で「第三次世界大戦の危機」と記される世界情勢には、ビキニ環礁で行われた水爆実験が含まれると考えられる。

Y 史料2の平和像の建設が計画された背景には、『経済白書』に「もはや戦後ではない」と記されるほどの経済復興を遂げたことがあった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

C



⑤ 1970年代には、日本各地の空襲で被災した都市で、空襲や戦災の経験を記録し後世に伝えようとする市民の活動が展開した。その先駆けの一つが、⑥東京空襲を記録する会の結成とその活動である。東京空襲を記録する会は、1945年3月9日から10日の東京大空襲をはじめとする東京を対象とした空襲の経験を記録し後世に伝えるために関連資料を広く収集し、⑦『東京大空襲・戦災誌』全5巻を刊行した。

問5 下線部⑤に関連して、1970年代の日本社会について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 変動為替相場制から固定為替相場制に移行したこと、円高が進行した。
- ② 航空機の購入をめぐる収賄容疑により、元首相が逮捕された。
- ③ 公害問題への関心が高まるなか、環境庁が設置された。
- ④ 年平均の経済成長率が、敗戦後初めてマイナスとなった。

問6 史料3は、下線部⑥の東京空襲を記録する会結成の中心になった人物の一人が新聞に投書し掲載された文章である。次の史料3の内容と同時代の対外関係に関して述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

31

日本史A

史料 3

三月十日といつても、今ではピンとこない人が多いだろう。無理もない。あれから、二十五年もすぎてしまったのだから。しかし、私は忘れない。(中略)頭上すれすれにのしかかってきた B 29 の大群を。それは地上の業火ごうかのてりかえしをうけて、まるで翼から血のしたたるようにギラギラと深紅に輝いて見えたものだ。(中略)あの空襲を体験した私たちは、せめて今日の一日ぐらいは「かつこいい」戦争、「イカす」戦争しか知らない子どもたちに、戦争の真実と実態を、切実に語ってきかせたい。そして、おなじ爆撃が、いまベトナムの頭上に無差別におこなわれていることも。

(『朝日新聞』1970 年 3 月 10 日)

- ① 史料 3 では、戦後 25 年を経ても、子どもたちも含めて広く東京大空襲の実態が認識されていることが評価されている。
- ② 史料 3 で言及されているベトナム戦争では、日本国内に置かれたアメリカ軍基地もこの戦争のための拠点となっていた。
- ③ 史料 3 が新聞に掲載されたのと同時代の 1970 年代前半には、アメリカの日本防衛義務を明確に示した新安全保障条約の調印が行われた。
- ④ 史料 3 で言及される B 29 爆撃機の多くは、東京大空襲が行われる直前にアメリカ軍が占領した沖縄本島から飛來した。

問 7 次の表は、下線部⑧のうち第 1 卷から第 4 卷の構成と、収録されている資料の概要を示したものである。この資料集を活用して探究できる内容について述べた後の文 X・Y と、それぞれの探究に際して最も参考すべき資料集 2 冊の巻号を示す語句 a ~ d との組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

日本史A

表 『東京大空襲・戦災誌』第1巻～第4巻の構成と収録されている資料の概要

卷 号	副 題	収録されている主な資料
第1巻	都民の空襲体験記録集 3月 10日篇	1945年3月9日から10日の東京大空襲について、都内地域別に配列された体験記
第2巻	都民の空襲体験記録集 初空襲から8・15まで	1942年4月18日の初空襲及び1944年11月から敗戦まで続いた空襲について、日付順、都内地域別に配列された体験記
第3巻	軍・政府(日米)公式記録集	初空襲以降、空襲が行われた各日の被害状況(焼失地域・死傷者)に関する警視庁など日本政府の調査記録 空襲に関するアメリカ軍の記録
第4巻	報道・著作記録集	1942年4月18日の初空襲及び1944年11月から敗戦まで続いた空襲に関する同時代の新聞報道 空襲に関する戦後の新聞・雑誌記事

(『東京大空襲・戦災誌』第1巻～第4巻により作成)

X 1945年1月に空襲を受けた都民の体験記と、その空襲に関する新聞報道とを比較し、その共通点と相違点について探究する。

Y 1945年3月9日から10日の東京大空襲の体験記が確認される都内の地域を把握し、その地域に関する日本政府の被害状況認識について探究する。

a 第1巻と第2巻

b 第1巻と第3巻

c 第2巻と第4巻

d 第3巻と第4巻

	①	②	③	④
X	a	c	c	d
Y	b	a	b	a